

講演会のご案内

# 中間選挙後の トランプ政権の動向

講師

**渡部 恒雄** (わたなべ つねお) 氏

笹川平和財団

安全保障事業グループ 上席研究員

日時

2018年12月10日 (月)  
【16:45～18:10】(受付開始16:30)

会場

日経茅場町カンファレンスルーム

東京都中央区日本橋茅場町2-6-1  
日経茅場町別館 地下1階

地図

講演内容

以下のポイントを中心にお話しします。

- (1) トランプ政権にとって中間選挙はどのような意味があったのか？
- (2) 中間選挙結果をどう読むか？
- (3) 中間選挙後に動いたトランプ政権の人事をどう考えるか？
- (4) 今後の米中貿易戦争と日米通商協議 (TAG)をどう読むか？

講師略歴

1988年東北大学歯学部卒業、歯科医師となるが、社会科学への情熱を捨てきれず米国留学。95年ニューヨークのニューヨーク大学で政治学修士課程修了。同年、ワシントンDCのCSIS (戦略国際問題研究所) に入所。客員研究員、研究員、主任研究員を経て2003年3月より上級研究員として、日本の政党政治、外交安保政策、日米関係およびアジアの安全保障を研究。05年4月に日本に帰国。以来CSISでは非常勤研究員を務める。三井物産戦略研究所主任研究員を経て、09年4月から16年8月まで東京財団政策研究ディレクター兼上席研究員。9月より上席研究員専任となり、10月に笹川平和財団に特任研究員として移籍。17年10月より現職。外交・安全保障政策、日米関係、米国の政策分析に携わる。07年12月から10年3月まで報道番組「サンデープロジェクト」(テレビ朝日系列) のコメンテーター。10年5月から11年3月まで外務省発行誌「外交」の編集委員。著書に「大国の暴走—『米・中・露』三帝国はなぜ世界を脅かすのか」(共著、2017年 講談社)、「戦後日本の歴史認識」(共著、2017年 東京大学出版会)、「Asia Pacific Countries and the US Rebalancing Strategy」(共著、2016年 Palgrave Macmillan)、「いまのアメリカがわかる本・最新版」(2013年 三笠書房)、「二〇二五年米中逆転—歴史が教える米中関係の真実」(2011年 PHP研究所) 等。

参加料 (消費税込み)

当日会場にてお支払い下さい。

① **1,000円** CMA、CIIA、一般会員、個人賛助会員、法人会員・法人賛助会員の役職員、CCMA、CMA受講生、大学生

② **無料** ①のうち首都圏 (※) 以外に居住される方 (勤務先が首都圏の方を除く)

③ **2,100円** 日本証券アナリスト協会認定PB資格取得者 (上記1. 以外の方)

④ **1,000円** 同PB資格取得者で首都圏 (※) 以外に居住される方。ただし、勤務先が首都圏の方を除く。

⑤ **3,100円** 上記①～④以外の方

(※) 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

申込方法

[こちら](#) をクリックし、該当講演会の「受付中」をクリックして下さい。入力・送信の上、参加申し込み完了メールを「参加証」として印刷し、当日は会場受付に提出して下さい。マイページに登録している方 (ID・パスワード取得者) は、マイページからお申込み下さい。

申込み期限

[申込はこちら](#)

2018年  
12月3日 (月)



問合せ先

日本証券アナリスト協会  
講演会・セミナー担当  
TEL 03-3666-1515  
FAX 03-5640-4529  
メール seminar@saa.or.jp